

放送大学埼玉学習センターだより

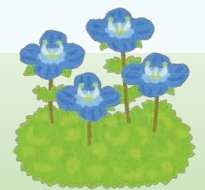
さきたま

2024年春号 通巻52号



目次

着任のご挨拶	2～3
退任のご挨拶	4～5
事務室からのお知らせ	5
生涯学習奨励賞	6
生涯学習奨励賞金剛賞受賞者からの寄稿	7
埼玉学習センター 5月～7月のスケジュール	8



着任のご挨拶

埼玉学習センター所長 川又 伸彦 (かわまた のぶひこ)

みなさま、はじめまして。

4月に、堀尾健一郎先生の後任として、埼玉学習センター所長に就任いたしました川又伸彦です。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、簡単に自己紹介をさせていただきます。東京に生まれたのち、父の転勤に伴い、埼玉、千葉、栃木、静岡、千葉、埼玉・大宮と引っ越してきました。大学院時代から実家は大宮です。大学院修了後は、勤務した大学の所在地により東京、長崎、東京と引越し、埼玉・大宮に戻りました。現在も、さいたま市、というか旧大宮市の区域に住んでいます。このため、東北新幹線の開通より前から大宮駅を利用して40年以上になります。その大宮駅に隣接する埼玉学習センターに勤務することを、とてもうれしく思っています。

私の専門は、憲法学です。大学のゼミ以降ずっと憲法学と取り組んでいます。憲法学に限らず法学は、欧米、とくにアメリカ・イギリス、ドイツ、フランスの学説や判例を参考に研究することが一般的です。そして、主な研究対象の国によって、英米学派、ドイツ学派、フランス学派と括られたりします。この括りでは、私はドイツ学派になります。大学院生時代の1989年から91年にかけて、2年ほどドイツに留学してもしました。その後も、折に触れてドイツへ研究のため出かけています。主たる研究の対象は、憲法異議というドイツの裁判の手続きです。この手続きは、個人が公権力によって自らの基本権（基本的人権）が侵害されたことを理由に、一般の裁判所を経ずに直接に憲法裁判所に訴えることを認めるものです。ドイツの基本権侵害をめぐる裁判の約90%はこの憲法異議によるものなので、ドイツの人権裁判を理解するための土台を研究しているといえると思います。日本の憲法の問題に直接かわるとはいえないのですが、ドイツの学説判例を参考に日本の問題を考えるうえでの前提を提供するものです。

埼玉学習センターに赴任するまでに、いくつかの大学を経てきました。女子美術大学、県立長崎シーボルト大学（現長崎県立大学）、日本大学、そして埼玉大学です。埼玉大学では10年間副学長を務め、大学運営にもかかわってきました。また、複数の大学で社会人学生を対象とする科目を担当したり、通信制の課程を担当したりもしてきました。社会人学生や通信制学生の方々が大学での学習を続けるにあたっての大変さやご苦労は、多少は理解しているつもりでおります。通信の授業では独りで学ぶことが多いため、学び続ける意欲を持ち続けることや、学習計画を立ててスケジュールを守ることなど、卒業へ向けての高いハードルがあることも、通信制の学生から教えられました。学習センターでは、この経験を活かしていきたいと思っています。

放送大学は、年齢、経歴、職業などを異にする多様な学生が学んでいます。その皆さんの多様なニーズに可能な限りお応えし、必要なサポートを提供するよう努めます。また、埼玉学習センターが、皆様の有意義な交流の場となるよう図っていきます。そのため、埼玉学習センターの教職員の方々とともに、精一杯取り組んでまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。



専門：憲法学



*** 着任のご挨拶 ***

客員教授 神庭 純子 (かみにわ じゅんこ)

専門：看護学

皆さん、はじめまして。私は、現職は西武文理大学看護学部の教員として看護師や保健師を目指す学生たちの学部教育に携わっています。私自身は教育学部を出た後に看護学部を目指し、保健師の実践を経て大学の教員になったこともあり、看護学、特に公衆衛生看護や家族看護を専門としながらも、看護教育そのものについても関心をもって究明しています。

看護の原点はナイチンゲールにあるとの思いから、ナイチンゲールの言葉に現代の看護の在り方を重ねて説いてきています。ナイチンゲールは「進歩というものは次の進歩への一歩」であり、そうでなければ「退歩していることにもなりかねない」として、変化する社会において日々学び続けることの重要性を指摘しています。

昨年まで放送大学埼玉学習センターで講義を担当させていただきました。その時の学生の皆さんの様子から学びに向き合う真摯な姿勢を感じ取り、生涯にわたって学び続けるその姿勢に敬服しつつ、私自身も共に学ぶ者でありたいと思える新鮮な心持ちになりました。

放送大学の学生の皆さんの学びたい思いを尊重しながら一緒に成長することができればと願っています。どうぞよろしくお願い致します。

客員教授 田中 信行 (たなか のぶゆき)

専門：気象学、防災気象学・気象災害

皆さん、初めまして。4月から客員教員となりました田中信行です。私は長年、気象庁で勤務し、天気予報の現場に加え、教官として学生や職員の指導も経験してきました。退職した現在は、地元自治体に助言を行う気象アドバイザーにも就任しています。気象現象は不思議の宝庫です。例えば、台風、竜巻、地球温暖化、エルニーニョなどなど。近年、気象の予測は精度が向上し、台風の接近や大雪が見込まれる時に、鉄道の計画運休や高速道路の通行止めにより、被害を防ぐといった利用まで進んでいます。講義では、気象現象や天気予報についてわかりやすく解説したいと思います。

皆さんとお会いし交流できることを楽しみにしています。

よろしくお願い致します。



客員准教授 梶原 直樹 (かじはら なおき)

専門：学習心理学

学ぶよろこび

わたしの専門は心理学です。心理学は、「行動の科学」と定義されています。研究の直接の対象は「こころ」ではなく「行動」であり、それを観察や実験などの科学的な方法で調べる学問なのです。これは、大学で心理学を学ぶ上では、いろはのいです。ところが、これを理解し消化して、自分のものにすることは簡単ではありません。でも、ここを理解できると、見え方がガラッと変わります。なにを学ぶときにも、このような大切だけれどやっかいなポイントがいくつもあるでしょう。そこをふんばって自分のものにする努力を惜しまないでください。「1日でわかる～学」のような本がありますが、それでわかることなどその程度のことでしかありません。苦勞する必要があるからこそ、学ぶ価値があるわけですし、わかったときの高揚感も大きくなります。だから、また次が知りたくなるのだと思います。「苦あれば楽あり」ではなく、「苦あるから楽あり」ですね。



2024年度1学期は、面接授業「心理学実験1」「心理検査法基礎実習」を担当します。

退職にあたって

前埼玉学習センター所長

堀尾 健一郎 (ほりお けんいちろう)

私はまだ平成だった2019年4月に埼玉学習センターに着任し5年間務めさせていただきました。この5年間で最も印象に残っていることはやはりコロナ禍です。流行が始まった2020年2月下旬には窓口を除いて全所閉鎖にしましたが、直後の3月初旬には窓口も閉めて電話対応だけにしました。当時は「コロナ感染が起こった事業所は2週間立入禁止になる」ことになっていたので、年度末に立入禁止になると卒業生や新入生に関わる業務ができなくなることへの危機感が大変強くあったことが印象に残っています。2020年度第1学期には大学本部の意向で面接授業は全面閉講になりました。閉講の判断は当初は4月開講の授業だけでしたが、ほどなくして第1学期全ての授業になりました。埼玉学習センターでは、4月に予定していた授業と心理学実験系科目については急遽第2学期に開講する方針にしましたが、2学期の授業スケジュールがタイトになってしまいました。7月には単位認定試験が自宅受験で行われました。試験問題をWebで入手できない方への伝達方法が大きな問題となりましたが、埼玉SC岸前事務長の発案によるコンビニのネットプリントを通じて周知する手段により、各コンビニ従業員の方の協力を得る形で、試験は無事に終了することができました。2020年度第2学期以降の面接授業は開講を原則としつつも、感染の拡大に応じてWeb開講（会議システムZoom）に切り替えたり、閉講したりしました。講師ご自身やご家族がコロナ感染もしくは感染の疑いがあるなどの理由で閉講や時期変更になった授業もありました。Web開講に変更になった授業では聴講取り止めが40%以上に上り、学生の皆様が直に先生方と連携できる面接授業への関心が強いことを図らずも認識させていただきました。

この5年間の経験において、“放送大学らしさ”についても感銘深いことが多くありました。面接授業を担当いただいた先生方からは「本務校での授業と違い聴講者の熱意が違う。いろいろ指摘されて自分の授業が進歩した。」のように発言されることが何回もありました。若い先生だけでなく経験のある先生にとっても“鍛えられる授業”であったようです。

単位認定試験が学習センター試験、自宅受験、Web受験と推移したことに伴い、学習センターに来られる学生の方の数は激減しました。サークル活動に参加するために学習センターに通っている学生の方は、必ずしも大きな人数ではありませんが、皆さん極めて熱心に活動されています。コロナ禍で活動が思うようにできず苦勞されている話も聞きましたが、地道に活動を続けておられることに感服しています。学園祭である“埼玉フェスタ”においては参加学生の方々の多才さに圧倒されました。2019年は通常開催、2020年は残念ながら中止になりましたが、2021年はZoom開催、2022年はZoomにリアルを加味した開催、2023年はリアルを中心にZoom配信も行う開催でいずれも盛会裡に終了しました。埼玉フェスタ最後に行われる懇親会は大勢の方々の参加で盛り上がり、埼玉学習センターの底力を感じました。未経験の皆様には是非一度覗きに來られることをお奨めします。

末筆になりますが、皆様が“放送大学での学び”を通じてより豊かな人生を歩まれるよう発展されることを祈念いたしまして退職の挨拶とさせていただきます。



専門：生産工学・加工学

ひとことメモ

在任中は、面接授業「工業におけるものづくり概説」、埼玉学習センターサロン「ものづくり懇話サロン」をご担当されました。

身近な工業製品の製造過程をテーマに放送大学では数少ない工業分野の知見をご教授いただきました。

*** 退任のご挨拶 ***

客員教授 井上 直也 (いのうえ なおや)

専門：宇宙放射線物理学、現代物理学

本学習センターで面接授業を担当し7年になりました。なかなか皆さんがなじみにくい「物理」を扱うことは至難の業で、ましてやそれが「何の役に立つの」という問いに答えるときに薄く漂う陰鬱さは今でも続いています。自然界の法則や見知らぬ自然の姿を解説し、それで皆さんの脳がピッと反応することを期待し、新たな知見を豊かに広げることになる、を抛り所にしてきた気がします。そのような授業法を踏まえて現代を眺めると、生成AIの技術が急速に進歩し、その上手な活用が生活を豊かにすることに期待する一方で、その利便性は人間の想像力や創造力を奪い取り論理的な思考を妨げるツールとして拡大していくことを危惧します。私たちは昔から「役立つもの」を創り出し、傍において身も心も豊かになってきました。思いつき・思考し・創作する、の一部分をツールに乗っ取られることのない未来であってほしいものです。この3月で客員教員を退任しますが、お世話になった学生の皆さんと事務職員の皆様にあらためてお礼申し上げます。



在任中は、面接授業「力学・放射線・光を学ぶ物理実験」をご担当されました。また、さいたま市宇宙劇場での特別講演会にも登壇、多くの物理学ファンの心を掴みました。

客員教授 島村 徹也 (しまむら てつや)

専門：情報工学、信号処理

早いもので、埼玉学習センターに客員教授として着任以来、5年が経とうとしております。これまでに、音声・画像処理入門、情報理論入門、デジタル通信概論の担当をさせていただきました。毎年、講義内容を考えるのですが、2012年ごろから着目されてきた人工知能(AI)が、最近益々脚光を浴びております。今度は、非常勤講師として、講義内容にAIに関する話を盛り込んで行こうかと考えております。次の6月ごろには、音声・画像処理の講義があるのですが、先端の画像処理技術で、人の顔写真からその人の感情を読み取ったり、酷い雨模様の写真から、その同じ風景の晴れたときの写真に変換したり、キーワードを入れるだけで、それに関連する画像を自動生成したり今ではできませんので、そんなご紹介もしてみようかなと画策しております。AI研究は進展がとても速いです。AI技術は、私たちの未来を大きく変えるかもしれませんね。



2024年度第1学期は、面接授業「音声・画像処理入門」を担当します。

事務室からのお知らせ

『学生生活の栞』『埼玉学習センターの利用の手引』『システムWAKABA』は、放大学生の頼れるサポーター。最大限に活用して、有意義な学生生活を送りましょう！



『学生生活の栞』は、放送大学で学ぶに当たって、必要な情報が記載されています。学習を進めるうえで疑問が生じたときには、随時ご参照ください。放送大学Webサイトからもご覧いただけます。



『埼玉学習センター利用の手引』は、施設案内、年間予定表、客員教員の紹介など、学習センターの利用についての情報が掲載されています。新規入学者には入学年度版の手引をお送りしています。在学生で必要な方は、事務室にお声がけください。また、埼玉学習センターWebサイトからもご覧いただけます。



教務情報システムの「システムWAKABA」は、授業の視聴や過去の単位認定試験問題の閲覧などの学習、各種連絡の確認、手続きなどができる放大学生のためのポータルサイトです。学内連絡や授業連絡、キャンパスメールには、修学上重要な連絡が随時届きます。定期的に確認しましょう。

2023年度第2学期 生涯学習奨励賞 授与式

2024年3月24日(日)、埼玉学習センターにて、2023年第2学期 生涯学習奨励賞授与式が行われました。今回は22名の方が受賞されました。おめでとうございます！



2023年度第2学期 生涯学習奨励賞受賞者

金剛賞	江原 啓子 様	藤田 武敏 様		
金 賞	板山 正美 様	遠藤 好彦 様	田口 京子 様	奈尾 博子 様
	畑中 博 様	吉富 進 様		
銀 賞	長田 久 様	須藤 稔 様	戸塚 ひろみ 様	橋本 安義 様
	花泉 ゆみ 様	東川 繁 様		
銅 賞	足立 久美子 様	栗原 和子 様	柴田 廣枝 様	関田 真澄 様
	長谷部 典子 様	半谷 和子 様	増山 一豊 様	(他1名)



2023年度第2学期生涯学習奨励賞授与式

2024年3月23日(土)、本部主催の2023年度放送大学学位記授与式が、ベルサール高田馬場にて開催されました。翌3月24日(日)には、埼玉学習センター・講堂にて、生涯学習奨励賞授与式(埼玉学習センター所属の受賞者対象)が、和やかに行われました。

卒業生および修了生、生涯学習奨励賞受賞のみなさま おめでとうございます！

教えて
まなび？



放送大学イメージキャラクター
まなびー

生涯学習奨励賞って
どんな賞なの？

埼玉学習センターでは、複数の専攻・コースを卒業された方を表彰する「生涯学習奨励賞」の制度を設けているよ。

6専攻/コースを卒業した方に送られる金剛賞のほか、金賞、銀賞、銅賞があつて、これを目指して頑張る学生も多いんだ！

みなさんも生涯学習奨励賞を目指してみませんか？

生涯学習奨励賞 金剛賞受賞者からの寄稿

学生生活を振り返って

江原 啓子 (えはら けいこ)

前号の『さきたま』を読んでびっくりしました。私も小尾信彌先生の講義がきっかけでした。偶然チャンネルが合い、音声だけでしたが熱のこもった講義に耳を傾けていました。子育ての合間の貴重な時間でした。電波状況が良くなって聞ける講義が増えるにつれ、単位を取得したくなってきました。そこで平成12年、科目履修生として1科目から始めました。その頃は卒業することは全く考えていませんでしたので、先に授業を視聴してから好きな科目をとっていきました。新設科目以外は予め視聴できるというのは放送大学ならではの利点だと思います。そして取得単位数が卒業要件の半分位になった頃、思い切って卒業を目指すことにしました。20単位の面接授業は大変でしたが家と違いどっぴりと学習に専念できる時間でした。各分野の最先端で研究をされている先生方の講義を直接受けられるのはとても贅沢な事だと思います。そして平成23年、何とか最初の卒業をしました。卒業の行事を楽しみにしていましたが、あの東日本大震災がおきました。混乱の中、準備をして下さった方達は対処が大変だったと思います。続けて再入学し、その頃は放送大学エキスパートという目標も増えました。自分の選択では履修しなかったであろう科目で違う世界を知ることもありました。また、生涯学習奨励賞を目指し5回再入学したことによって、以前学習した内容がほかのコースでも出て、違った角度から復習することができ、より理解が深まったりしました。新型コロナでどうなるかと思いましたが、大学の色々なご尽力で学習を続ける事ができ、金剛賞を頂くことができました。ありがとうございました。



2000年第2学期に科目履修生として入学。以後、継続した修学を経て、2006年第1学期、全科履修生として入学。2011年度第2学期自然の理解専攻にて1度目の卒業。2023年度第2学期をもって、合計6専攻/コースの卒業を達成し、生涯学習奨励賞金剛賞受賞。

生涯学習奨励賞を受賞して

藤田 武敏 (ふじた たけとし)

私は、退職後法律を勉強したいと思い放送大学へ平成18年に入学しました。コースは法律の科目が多い＜社会と産業＞を選択し、受講途中、レベルを知るため司法書士の試験を受験しましたが、全く歯が立たず、法律の勉強は早々に断念しました。

このコースの卒業には7年掛かりましたが、NHKホールで行われた学位記授与式に出席した際、当時の岡部学長の式辞での「継続は力なり」のお言葉が印象に残り、全コース受講することになりました。

受講に当たっては、各コースの片方（例えば、心理と教育では心理）の科目に絞って受講しました。そういう意味では半コースかも知れません。全コースを卒業するまでには、受講科目の登録忘れや試験直前に突然の心臓病で1ヵ月の入院といったこともありました。

そんな中で一番残念だったのは新型コロナです。それまでそれなりに緊張感を味わうことが出来たセンター（教室）での試験が無くなったこと、私自身の基礎疾患のためセンターへ行けなかったことです。

今後は、選科履修生として継続したいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

最後になりましたが、埼玉学習センターには18年間の長きに渡り在籍させて頂き、各所長さんを始め関係各位の皆様にご世話になり、有難うございました。また、放送大学の各先生方にも御礼申し上げたいと思います。



2006年全科履修生として入学。2013年度第1学期社会と産業コースにて1度目の卒業。以後、教養学部すべてのコースを卒業。2023年度第2学期、生涯学習奨励賞金剛賞受賞。



機関誌「さきたま」のバックナンバーは、埼玉学習センターWebサイトから、ご覧いただけます。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/saitama/about/magazine.html>



埼玉学習センター 5月～7月のスケジュール

2024

May

月	火	水	木	金	土	日
		1 閉所日	2 閉所日	3 閉所日	4 閉所日	5 閉所日
6 閉所日	7	8	9	10	11	12
		Web通信指導提出期間開始(5/8～29)				
13 閉所日	14	15	16	17	18	19
		郵送通信指導提出期間開始(5/15～29)				
20 閉所日	21	22	23	24	25	26
27 閉所日	28	29	30	31		

通信指導

Web提出：5/8日(水)10:00～29日(水)**17:00**

郵送提出：5/15日(水)～29日(水)**必着**

提出期限を過ぎると未提出扱いになります。
余裕をもって、提出しましょう！

放送授業と一部のオンライン授業には通信指導があります。
Webまたは郵送で解答し、合格すると単位認定試験の受験資格が得られます。
(提出がWebに限定されている科目もあります。)

2024

June

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 閉所日	4	5	6	7	8	9
10 閉所日	11	12	13	14	15	16
17 閉所日	18	19	20	21	22	23
24 閉所日	25	26	27	28	29	30



？ 単位認定試験のWeb受験って、難しそう…不安だな。
何か、いい方法はないかなあ ？

一部の科目を除き、学期末の「単位認定試験」は、Web受験です。まずは、システムWAKABAにあるWeb単位認定試験体験版で練習してみましょう。

それでも、パソコン操作に不安のある方は、埼玉学習センターの体験会にご参加ください。

体験会に参加する際は、必ず、システムWAKABAのIDとパスワードをご持参ください。

単位認定試験で実力を発揮するために、まずはWAKABAのパソコン操作をマスターしましょう！

2024

July

月	火	水	木	金	土	日
1 閉所日	2	3	4	5	6	7
8 閉所日	9 閉所日	10	11	12	13	14
		Web単位認定試験体験会				
15 閉所日	16	17	18	19	20	21
	単位認定試験期間(7/14～22)					
22 閉所日	23	24	25	26	27	28
29 閉所日	30	31				

Web単位認定試験体験会(予約不要)

7/10日(水)～13日(土) 14:00～16:00

埼玉学習センター9F 実習室



単位認定試験

実施方法	出題形式	提出日程(期間)
Web試験	択一式科目	7/14日(日)9:00～ 22日(月)17:00
	記述式・併用式科目	7/14日(日)9:00～ 18日(木)24:00
郵送試験	すべての出題形式	7/14日(日)～ 18日(木)必着

実施方法、出題形式によって、提出期限が異なりますので、ご注意ください。
大学院修士課程は、原則として、Web受験のみとなります。

スケジュールは変更になる場合があります。必要に応じて、
埼玉学習センターWebサイトでご確認ください。



放送大学 埼玉学習センター

〒330-0853
さいたま市大宮区錦町682-2
JACK大宮ビル(受付10F)
TEL 048-650-2611 FAX 048-650-2615
URL <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/saitama/>



埼玉学習センター
Webサイト

